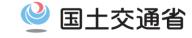
# 「JR四国の経営改善について」(令和2年3月31日発出)



### 【背景】

JR四国は、人口減少や他の交通手段の発達に伴い、厳しい経営環境

- ■平成23年度に経営自立計画を策定 経営改善の取組を進めたものの、
  - ・令和元年度, 2 年度の 2 年間連続で経常利益が経営自立計画を下回る (R1計画▲ 4、決算見込み▲ 2 1) (R2計画 3、事業計画案▲ 1 2)
  - ・計画の最終目標が未達になる
- ■今後も中長期的に厳しい経営が続くことが想定される



10年後(令和13年度)の 経営自立を目指し、

## 経営改善に向けた取組

を着実に進めることを求める。

なお、取組の実施状況を検証し、着実な進展が確認されることを前提として、令和3年度以降も経営自立に向けた国の支援を継続するため、所要の法律案を国会に提出することを検討する。

### 【経営改善に向けた主な取組】

- 1. 経営自立計画が未達となった原因の分析・報告
- 2. 令和2年度事業計画について、四半期ごとに鉄道局とともに検証し、 情報を開示
- 3. 令和13年度の経営自立を目指し、 10年間 (令和3~12年度) の長期経営ビジョン及び 5年間 (令和3~7年度) の中期経営計画を令和2年度中に策定 ビジョン・計画について、四半期ごとに鉄道局とともに検証し、情報を開示

#### (取組例)

- ・鉄道特性を有する路線や関連事業における収益最大化
- ・インバウンド観光客を取り込む施策の充実
- 経営安定基金の運用益確保
- ・グループ全体のコスト削減・意識改革
- ・地域との連携による運輸収入・輸送密度の改善、業務運営の効率化



▲観光列車(伊予灘ものがたり)

- 4. 外部の意見・アドバイスを経営に反映させる仕組みの構築
- 5. <u>5年間(令和3~7年度)の事業計画を令和2年度中に策定し、</u>地域の関係者と一体で<u>利用促進やコスト削減などの取組</u>を行い、持続的な鉄道網の確立に向け、2次交通も含めたあるべき交通体系について徹底的に検討地域の関係者とともに取組の結果を毎年度検証。<u>最終年度(令和7年度)に総括的な検証</u>を実施。その際、利用者数等の目標の達成度合い等を踏まえ、事業の抜本的な改善方策についても検討